

ひとねぎのじだより

NO.149

2019年10月号

TEL: 075-601-0668

こと京都株式会社



言葉で感じる季節



あま
びえ
雨
入
マ
え

しとしとと降り続く秋の雨。「ひと雨一度」ということわざがあるように、雨が降る度に少しづつ気温が下がっていきます。

雨が降って徐々に冷え込むこと。

やがて、ひんやりとした「秋冷の候」へ導く雨とも言いますね*

台風の景響で不安定な気候が続いています。

そして優しく降る雨はもう少し先のようですね…

涼しくなってまたなあと
夏の終わりを感じて
少し市ヶとしていたところ、
先日千度目となる台風上陸^②
毎年被害の結果も様々、
試練はまだまだ続きます。

9月23日に訪れた台風17号

連休前に沖縄で発生し九州地方、西日本と進路を進めたのち、温帯低気圧に変わり更に広い範囲で暴風が発生。週明け、美山の方で台風の影響を受け倒伏の被害が出ました。直撃は逃れているものの、想定以上の倒伏面積となり、現在収穫・工場での調整作業など各現場にて苦戦している状況です。

今月のことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

夏から秋の季節に移ろいゆくネギのお届け

今月も先月に引き続き、7月中旬頃に定植した美山・亀岡がメイン圃場になります。

10月から市内も収穫予定には入ってきますが、今月で美山圃場も終了予定になります。

ちょうど暑さがピークを迎える間近で農人にとっても大変でしたが、植えたねぎにとっても過酷な状況。元気に育つか心配でしたが、こちらの心配はよそに元気よく育ってくれました。

台風の影響も受けながら、加工場で「少しでも良いねぎを」と時間をかけ丁寧に調整作業をしたねぎのお届けです。



農人たちの畠での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信

台風に備えて心の準備も

こと九条ねぎは柔らかく美味しいねぎですが、その反面、雨風に当たりすぎると良くなく、守ってあげる必要があります。防風ネットや倒伏防止ロープなど、8月から引き続き試行錯誤。各地域での被害や報道でいつ・どうなるかわからないないと心の準備もしながらの作業。



根元から倒伏したねぎ畠、心苦しいです...

夏の終わりと振り返り

これから冬に向けての畠立て・定植とやることは明白押しで、優先順位を意識して、日々作業段取りを立てる必要があります。農人リーダーの手腕が發揮される時期もあり、秋の季節だなと感じます。最近は涼しくなってきたこともあり、身体への負担は少なくな

りました。一方、日の入りも早くなり、帰る頃には真っ暗。農人一同、安全第一で作業にあたっています。病虫害の被害も多くなるので、こまめな防除を行い良い状態のねぎをお届けできるようにしています。

夏が終わり、今年入社の農人が全員無事に夏を乗り切ることができたことは一番の収穫でした。辛い時期もありましたが、皆で励まし合い、時には冗談を言いながら作業ができたこと、彼らを支えた先輩農人にも感謝です。

